

高校歴史総合プリント（過去問類似）
世界史A（旧課程の過去問） No.10

名前

得点

/10

問1 13世紀にチンギス=ハンの孫であるバトゥがヨーロッパ遠征の途上で建国し、ロシアの諸公国を支配下に置いたモンゴル系の政権は何か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. キプチャク=ハン国 2. チャガタイ=ハン国 3. オゴデイ=ハン国 4. イル=ハン国

問2 19世紀後半のイギリスにおいて、保守党のディズレーリと交互に政権を担当し、労働組合法の制定や初等教育法の導入、アイルランド土地法の制定などの内政改革を推進した自由党の首相は誰か。（2020年 全国公立入試 類似）

1. ソールズベリー 2. ディズレーリ 3. パーマストン 4. グラッドストーン

問3 1917年のロシア二月革命後に成立した臨時政府において、当初は法相や陸海相を務め、同年7月からは首相として政府を率いたが、戦争の継続方針や軍部の反乱への対処に苦慮し、最終的に十月革命で失脚した社会革命党出身の政治家は誰か。（2023年 全国公立入試 類似）

1. ケレンスキー 2. コルニーロフ 3. トロツキー 4. プレハーノフ

問4 1853年に始まり、ロシアの南下政策に対してオスマン帝国、イギリス、フランス、サルデーニャが同盟を組んで対抗したことで、ロシアの敗北に終わった19世紀半ばの国際戦争は何か。（2010年 全国公立入試 類似）

1. ナポレオン戦争 2. デンマーク戦争 3. カルリスタ戦争 4. クリミア戦争

問5 17世紀前半のヨーロッパでは、キリスト教の新旧両派の対立から三十年戦争が勃発し、甚大な被害をもたらした。この戦争の惨禍を目の当たりにし、国家間の関係を律するルールの必要性を痛感して『戦争と平和の法』などを著し、「国際法の祖」と称されるようになったオランダ出身の法学者は誰か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. コメニウス 2. スピノザ 3. ライブニッツ 4. グロティウス

問6 20世紀初頭の中国では、日露戦争の時期前後から反清革命運動が急速に高まった。1905年、孫文らによってそれまでの革命諸団体が統合され、日本の東京で結成され、のちの辛亥革命において指導的役割を果たすこととなった組織は何か。（2011年 全国公立入試 類似）

1. 中華革命党 2. 中国同盟会 3. 中国共産党 4. 中国国民党

問7 清朝政府が外債導入のために幹線鉄道の国有化を宣言したことに対し、四川などで激しい反対運動が起こった。この混乱のなか、1911年10月に武昌で新軍が蜂起したことを契機に勃発し、翌年の清朝滅亡とアジア初の共和国の建国へとつながった一連の変革運動の名称として最も適切なものを、次のうちから一つ選べ。（2005年 全国公立入試 類似）

1. 辛亥革命 2. 二次革命 3. 護法運動 4. 戊戌政変

問8 中世から近世にかけて東方貿易を通じて繁栄し、イスラーム世界から導入した技術をもとにガラス工芸などの産業を発達させた、アドリア海に面したイタリアの都市国家はどこか。（2024年 全国公立入試 類似）

1. ジェノヴァ 2. フィレンツェ 3. アマルフィ 4. ヴェネツィア

問9 日清戦争後の下関条約によって日本が台湾を領有する契機となった、1894年に朝鮮で勃発し、日清両国の出兵を招いた東学信徒を中心とする農民反乱は何か。（2013年 全国公立入試 類似）

1. 甲午農民戦争 2. 壬午軍乱 3. 義和団事件 4. 甲申政変

問10 オスマン帝国の軍事制度に関する以下の説明において、空欄 [] に入る語句として最も適切なものを答えよ。オスマン帝国は領土を拡大する過程で、バルカン半島などのキリスト教徒の少年を徴集してイスラーム教に改宗させ、忠実な兵士や官僚として育成する制度を整えた。この制度によって編成され、スルタンに直属して銃器などの新兵器を用いた歩兵の常備軍は [] と呼ばれ、帝国の主力軍として活躍した。（2011年 全国公立入試 類似）

1. アキンジ 2. シパーヒー 3. イェニチェリ 4. カプクル

答え合わせ・解説 No.10

問1	答え 1 キプチャク=ハン国	13世紀前半、バトウはワールシュタットの戦いなどでヨーロッパを震撼させた後、南ロシアのサライを都としてこの政権を樹立した。ロシアの諸公国を「タタールのくびき」と呼ばれる支配下に置いた。
問2	答え 4 グラッドストン	19世紀後半のイギリスでは、自由党と保守党による二大政党政治が確立した。自由党を率いたこの人物は、第1次内閣において初等教育法や労働組合法を制定して内政改革を進め、アイルランド問題の解決にも取り組んだ。
問3	答え 1 ケレンスキー	1917年の二月革命後、社会革命党（エスエル）右派のケレンスキーは臨時政府の首相となり、戦争継続を強行したが、国民の支持を失った。同年十月、レーニン率いるボリシェヴィキの武装蜂起（十月革命）によって臨時政府は打倒され、彼は亡命を余儀なくされた。
問4	答え 4 クリミア戦争	ロシアの南下政策（東方問題）を阻止するため、イギリスやフランスなどがオスマン帝国を支援して勃発した。この戦争の敗北により、ロシアは近代化改革（農奴解放令など）を迫られることとなった。
問5	答え 4 グロティウス	三十年戦争の惨禍を背景に、国家間の戦争時における法的なルールの必要性を説き、『戦争と平和の法』や『海洋自由論』を著したオランダの法学者はグロティウスである。彼は自然法思想に基づき、国家を超えて適用される国際法の基礎を築いたため、「国際法の祖」と呼ばれる。
問6	答え 2 中国同盟会	1905年、孫文はそれまでの興中会、華興会、光復会などの革命諸団体を統合し、日本の東京で中国同盟会を結成した。この組織は「驅除韃虜・恢復中華・創立民国・平均地権」の四政綱（三民主義の具体化）を掲げ、清朝を打倒して中華民国を樹立する辛亥革命の強力な推進母体となった。
問7	答え 1 辛亥革命	清朝が外債導入のために幹線鉄道の国有化を決定すると、これに反対する利権回収運動が四川などで激化し、暴動へと発展した。この混乱に乗じて、1911年10月10日に湖北省の武昌で新軍（近代式軍隊）が蜂起した。これを契機に各省が次々と清朝からの独立を宣言し、翌1912年の新国家樹立と清朝皇帝の退位（清朝滅亡）へと至る一連の革命運動が展開された。
問8	答え 4 ヴェネツィア	アドリア海に面したこの都市国家は、東方貿易の中心的拠点としてイスラーム世界と深く結びつき、ガラス製品やその原料、エナメル彩装飾などの高度な技術を導入した。これにより、15世紀にはガラス製作の先進地域として発展を遂げ、独自の産業基盤を確立した。
問9	答え 1 甲午農民戦争	1894年に朝鮮で発生した甲午農民戦争（東学の乱）を契機として日清両国が出兵し、日清戦争へと発展した。その結果、1895年に下関条約が結ばれ、日本は台湾を領有することとなった。なお、新インド統治法の公布は1935年、フランスのディエンピエンフーでの敗北は1954年の出来事である。
問10	答え 3 イエニチェリ	オスマン帝国では、キリスト教徒の少年を徴集して改宗・教育するデヴシルメ制度が実施された。この制度を通じて育成されたスルタン（君主）直属の歩兵常備軍がイエニチェリである。彼らは火砲や銃器などの新兵器をいち早く導入し、帝国の領土拡大において重要な役割を果たした。しかし、時代が下ると既得権益化し、政治的混乱の要因となったため、19世紀前半にマフムト2世によって解体された。